



Ehime Medical Center

愛媛医療センターニュース

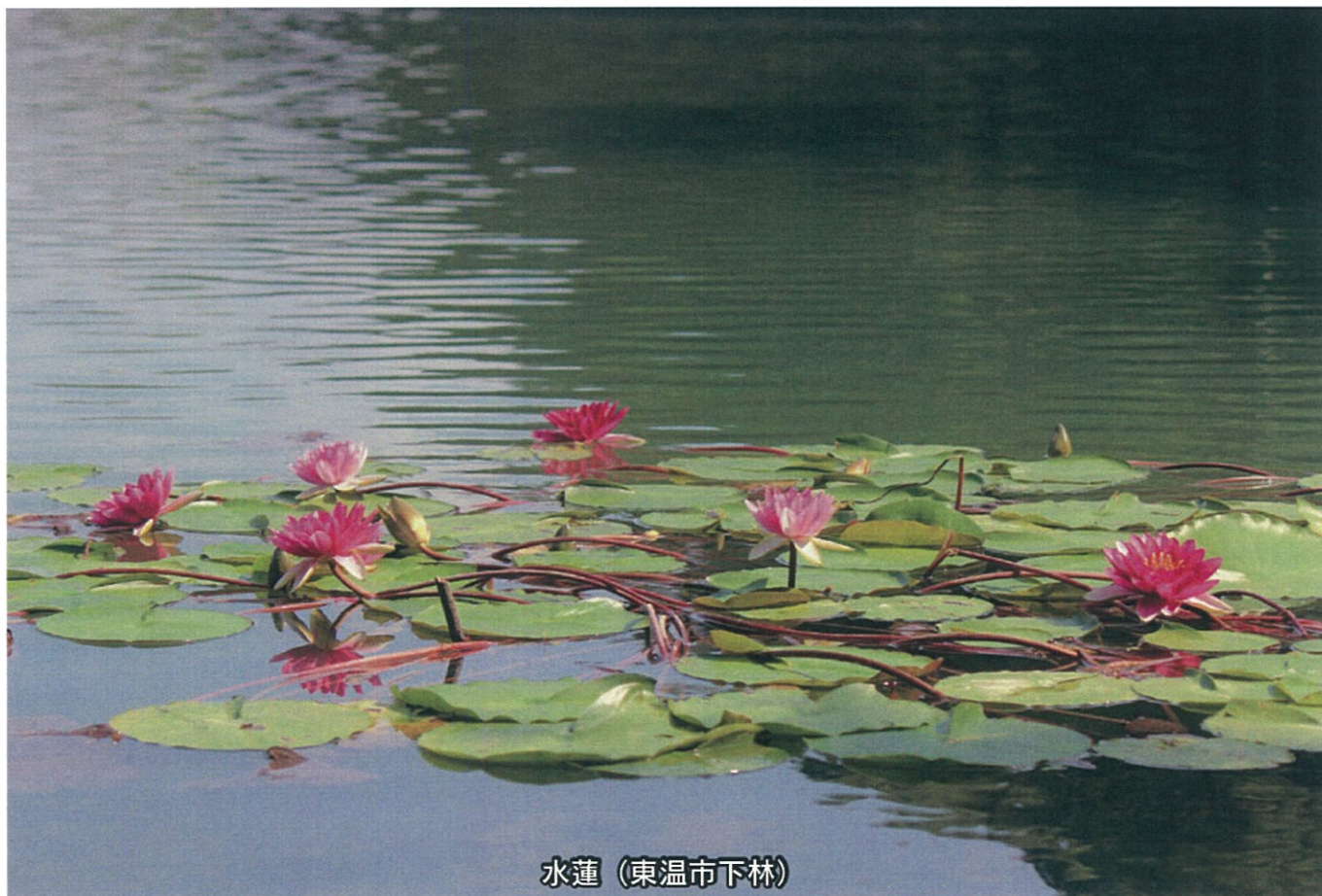
石 鎚 —いしづち—

2019

第56号

7月1日発行

発行者:愛媛県東温市横河原366 国立病院機構愛媛医療センター 発行責任者:院長 岩田猛 <https://ehime.hosp.go.jp>



水蓮 (東温市下林)

水のトラブルを経験して

5月18日土曜日に、院内の蛇口から出る水が濁っているというトラブルが発生しました。原因は、年1回の貯水タンク清掃後に、水位が下がっている井戸水をポンプで急速に汲み上げたことによる濁りではないかということでした。

事務および看護師長の日直・当直者で対応をしていましたが、トラブルは解決できませんでした。休日だったことから県外にいた事務部長・感染管理認定看護師も駆けつけ、事務部、看護部に加え東温市の水道課の方にもご協力をいただき、夜中までいろいろ対応を重ねました。患者さんに提供する水ですので影響があってはなりません。事務の職員は、2ℓペットボトルの水を大型量販店から買い占めるかのように調達し、病棟に配布してくれました。一番大切な食事提供に使用する水は、防災用に備蓄していた水で対応しました。

診療に影響があるものとしては、機器の洗浄でした。外注や四国がんセンターにもお世話になり大変助かりました。

5月20日月曜日の水質検査で、濁り・色以外の項目は基準値を満たしているという結果でしたが、この濁り・色の基準値を満たすのに6日間を要しました。その間、2ℓペットボトルの水の買出しや浄水器の設置など可能な範囲でできることを行ったつもりですが、一番大変だったのは現場でした。栄養管理室や調理室での食事提供や食器洗浄。病棟での看護ケアや機器・看護用品の洗浄など、本当にご苦労だったと思います。それからこんなところにも影響が…ある医師が、「保育所から給食が提供できないので毎日お弁当が必要！早くなんとかならないかしら」。

改めて、蛇口から出る水のありがたさ、災害のない日常に感謝し、今後の危機管理を考えていきたいと思います。今回の水のトラブルに関わっていただいた皆さま、本当にお疲れさまでした。

看護部長 高須賀 久美子



呼吸器内科医師  
**山本 哲也**

本年度4月から入職した山本哲也と申します。もともと出身は東温市(旧川内町)ですが、大学は大分に進学し、北九州市で研修後、一昨年より愛媛に戻ってまいりました。ひさしぶりに愛媛に帰ってきて、今は日々地元の良さを感じながら過ごしております。

専門は呼吸器内科で、医師5年目までは総合内科として働いておりましたので呼吸器内科としては3年目でまだ新米です。医師になったころから感染症に興味があり、

本年度より循環器内科に着任致しました。関谷健佑と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私は松山市出身で、平成23年に近畿大学医学部を卒業後、地元の愛媛に戻り、済生会松山病院で初期研修および後期研修、松山赤十字病院、愛媛大学病院、西条中央病院と勤務してまいりました。これまで心臓カテーテル治療を含む循環器診療や急性期治療だけでなく、一般内科診療や緩和医療、リハビリテーション、透析業務なども経験しましたので、当院でも幅広く診療に関わっていきたいと考えております。近年は糖尿病や生活習慣病予防、抗加齢医学分野にも興味を持っており、皆様と一緒に「健康法」について意見交換できたら嬉しく思います。

当院は救急指定病院ですので救急診療を行うのは当然ですが、同時に東温市における地域拠点病院としての役割が大きいと考えております。開業医の先生方と病診連携を取りながら、可能な限り速やかな入院受け入れをさせていただきます。また当院で対応困難な重症患者さんは、大学病院や県立中央病院など高度医療機関と連携し、そ

去年は大学病院での勤務で悪性腫瘍の診療に多くかかわってきましたが、昔から結核を含む感染症や良性疾患について学べるということで、副院長の阿部先生をはじめ、呼吸器内科の先生方のもとで楽しく働かせていただいております。

平日の仕事終わりはいつもゴロゴロしていますが、休日には外出するのが好きで、よく隣の香川や広島、時には岡山まで遊びに行くこともあります。学生のときはテニスをしていましたが、最近運動することがなくなってしまい、平日の生活がたたくて下腹部が気になる年齢になってきました。なるべくするようにしている筋トレで何とか現状維持しています。好奇心旺盛でいろいろ挑戦したいという気持ちはあるのですが、数年前に始めた手話の勉強は遅々として進まず、何か楽器を始めたいとは思っているもののしばらく実現していませんので、今年こそはと思っています。

まだ未熟者ですが、地域の皆さんだけでなく病院の皆さんにも信頼される医師になるべく真摯に頑張りたいと思っていますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

の患者さんに最も適したオーダーメイド医療を提供できるように努めてまいります。

着任してまだ3ヶ月程ですが、東温市の方々には優しく穏やかな方が多い印象です。当院もスタッフ同士が職種垣根なく気軽に相談でき、昔ながらのほっとする雰囲気が残っています。まだまだ若輩者ですので、皆様から教えていただくことも多いかと思っております。これからも御指導の程よろしくお願い致します。



循環器内科医師  
**関谷 健佑**

## 雨三毛負ケズ

# 第28回 四国重症心身障害研究会

令和元年6月15日、第28回四国重症心身障害研究会が東温市中央公民館にて開催されました。当研究会は、四国各県の重症心身障害医療に携わる医療機関が連携し、知識や技術、情報の共有などを目的に、年1回毎年この時期に開催されています。今年度は愛媛医療センターが担当施設となっており、1年ほど前から療育指導室が主体となって準備を進めてきました。

当日はあいにくの雷雨でしたが、四国各県の10施設より180名を超える方にご参加いただきました。一般演題としては、医療、看護、リハビリ、療育各方面より計20題の演題登録をいただき、各分野における取り組みの成果などを共有することができました。当院からは、重心病棟看護師より、効果的なポジショニングの検証についての発表がありました。

特別講演としては、国立病院機構千葉東病院歯科医長の大塚義頭先生より、『障がい児者の口腔機能の発達からみた食べる機能の障がいとその評価、そして摂食指導について』のタイトルでご講演いた



参加者受付

いただきました。大塚先生は、長年にわたり障がい児者の口腔機能評価や摂食指導に携われ、その評価法や摂食指導法を確立された方であり、これまでのご経験に基づいた幅広い内容のご講演でした。

重症心身障害児者では、筋の協調運動障害や形態発育遅延、過敏や鈍麻など種々の要因によって摂食嚥下機能が発達不良となり、摂食嚥下障害が生じるため、個々において摂食嚥下機能の発達段階を評価し、発達段階に応じた訓練によって機能を向上させていく“リハビリテーション”の関わりが必要であることを学びました。

当院でも摂食訓練ワーキンググループが発足し活動を開始しており、今回のご講演を更なる糧として、重症心身障害病棟に入所されている皆様により安全に食事を楽しめるよう、今後も継続した支援が行われていくことを願います。

本研究会の開催にあたり、当院運営スタッフの皆様のご多大なるご尽力に感謝致します。

小児科医長 菊池 知耶



開会式に臨む岩田院長と菊池小児科医長



熱心に聴講する参加者



特別講演講師：大塚先生

# 地域の輪



繋がる地域医療連携

## 増田整形外科



当院は、松山市と東温市の境界線上の松山市側に位置しています。平成5年の開院時は、隣接しているフジグラン重信店はまだなく、農地が広がっていて、所々に松の木が立っている閑散とした場所でした。

こんなところに患者さんが来てくれるのかと不安でしたが、フジグラン重信店が開店して、町になってくれました。

整形外科は、急性、慢性の骨と筋肉、関節、神経の障害による疼痛を和らげる治療を行っています。その為に今日、診療所であっても、ますます質の高い診断が要求されるようになっていきます。

超高齢社会において、老人は軽微な外力で、脊椎や大腿骨などに骨折を生じています。画像診断は難しく、X線ならびにMRI検査、エコー検査を行い、手術が必要であれば、連携室を通じて医

療センターに治療をお願いしている次第です。この地域の基幹病院として誠に有難い存在です。

当院では、医療と介護の両立のために、私と看護師と他のスタッフが時代の流れに対応すべく日々話し合いを行い、ご家族の介護を少しでも軽減できるよう昼間の休息にはデイケアを利用していただき、一人で留守番をしてもらうには不安な時は「ショートステイ愛」を利用していただくなど、レスパイトにも対応しております。地域の人々に微々たる貢献ができればと思っております。

施設名：医療法人 愛聖会 増田整形外科  
・通所リハビリテーション 愛  
・ショートステイ 愛

院長：増田頼昭

診療時間：月・火・水・金曜日

午前9時から12時30分まで

午後2時から午後6時まで

木曜日 午前9時から12時30分まで

土曜日 午前9時から午後2時まで

休診：祝祭日、日曜日、木曜日午後、土曜日午後

住所：松山市南梅本町1136番地2

電話：089-970-2020

・デイケア 089-955-6202

・ショート 089-968-2022

### 夏。先取り！

## ハッピーフェスティバル

晴天に恵まれた5月29日(水)、重症心身障害児(者)病棟のハッピーフェスティバルが開催されました。

22・23病棟のテラスでは、野菜収穫体験？付きのゲームコーナーが催され、日用品・おもちゃ・食べ物の畑に見立てた箱に、夏野菜を模した紙ぐるみが植わっており、利用者さんの好みに応じた畑から収穫をして付属のくじで景品をGetしていました。大当たりの鐘が鳴ると、当たった本人はもちろん、会場にいるみんなも笑顔になり、大勢から祝福され、嬉し恥ずかし表情をされていました。

また、栄養管理室による冷たいデザートを味わったり、日々の療育活動で制作したポスターコンテストなどを楽しみました。

ステージパフォーマンスは、男女デュオ「ペパーミント」さんによる歌、「ロケ・ナニ・フラスタジオ道後教室&利楽教室」さんによるダンスがありました。迫力あり、感動ありの歌声に利用者さんは自然と身体を揺らしてリズムをとったり、口ずさんだりする様子が印象的でした。



院長先生のサプライズステージには、利用者さんだけではなく家族や職員も驚いた様子で見つめ、家族同士では「先生上手いね」と話されていました。

夏を先取りのフラダンスでは、一緒に踊って参加する場面もあり、ハワイの雰囲気を楽しみ、体験することができました。

毎年恒例となったゆるキャラ訪問では、みきゃんとこみきゃんと触れ合い、積極的に手を伸ばして握手をする人、大きさに驚いて少し引いてしまう人などそれぞれに楽しまれていました。

ハッピーフェスティバルは、違う病棟にいる利用者さんと家族、職員、地域のボランティアの方が交流する大切なイベントです。今年もみなさんの協力の下、開催することができたことに感謝致します。

療育指導室 保育士 西田 益三

# 医心伝心

Acute Care Surgery  
新しい外科の領域のおはなし

「ねじれて腸が裂け意識朦朧（もうろう）です。」  
「交通事故で肝臓が破裂し血圧が低下しています。」

緊迫したこのような状況では、24時間以内の緊急手術が必要となるかもしれず、意識状態・脈拍・血圧・体温・呼吸数・酸素飽和度などの生体情報を常にモニターしながら、急変に対応しつつ、手術および集中治療できる環境が必要です。

そこで治療を担うのは救急医や麻酔医そして外科医です。しかし、本邦の外科は、心臓血管外科・呼吸器外科・消化器外科・小児外科と専門領域が細分化されているため、一体的に救急に特化した診療を行っている施設は少なく、増加する外傷や急性腹症に、十分対応しているとは言い難い状況です。

この状況に専門性をもって誕生したのが、Acute Care Surgeryです。ここでは、外傷外科・内因

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

性救急外科・外科的集中治療の3つの領域に跨り、外科医が中心となって、虫垂炎から集中治療を要する胸腹部体幹外傷まで、幅広く診療します。集中治療に至らない場合は、Acute Care Surgeryと一般外科のどちらでも診療を行うこととなります。

Acute Care Surgeryは米国で2005年に提唱され、本邦では2013年に学会が発足した新しい領域です。ようやく一部の地域で始まったばかりなので愛媛県にはまだ確立した施設はありませんが、これからの救急を担う外科として注目されています。

外科医長 鈴木 秀明



## 健 禅 一 如

### 看護の日健康相談

今年度、愛媛医療センター「看護の日」のイベントは5月12日(日)9時～12時、場所を提供頂いて隻手薬師にて健康相談を開催いたしました。今年は、花まんだら祭りと重なり、隻手薬師入口に場所を確保していただきました。担当したメンバーは新人から若手の看護師9名で来客者の対応をしました。

健康相談の項目は、身長、体重、体脂肪、血圧、骨密度の測定を行い、普段の状況を聞きながら、測定値をお知らせしました。相談を受けながら思ったことは、いかにこの「看護の日」のイベントを心待ちにしてくださる方が多いかということでした。



お坊様も健康管理

「私は、愛媛医療センターの〇〇先生にかかっています。先週も病院に行きましたが、今日も隻手薬師に来てくれることを知り来ました」とか「愛媛医療センターはかかりつけよ。夫婦で世話になってるよ」などの声を頂きました。中でも驚いたのは、愛媛療養所の頃からの十数年前より、看護のイベントに参加し、「毎年、ここに来てチェックを受けています」と仰って、健康相談結果の古いデータをずっと持たれて、参加されている方がいらっしゃいました。

健康相談に来ていただいた方は141名でした。愛媛医療センターは地域において必要とされる病院として、地域の方々のニーズにこたえていかなければならないと強く感じました。担当した看護師も、健康相談を受けた来場者も、終始笑顔でイベントは終了しました。来年も、楽しみにしています。

看護師長 八百原 優子 藤木 悦子

# 医療安全管理室 だより

こんなことしています

## 検査科の取り組み

昨年、医療法等の一部を改正する法律が施行されました。これにより、検査を行う施設に関する基準の創設

と、検査の精度の確保に関する基準の明確化等を行うことが義務付けられました。当院検査科でもこの対応を行いましたので、その内容について簡単に示します。

### ◎検体機器保守管理標準作業書、標準作業日誌について

検査では多くの機器を使用していますが、それらは機器保障のため、定期的にメーカーによる保守点検を実施しなければなりません。

また、実施日、点検内容等を記録として保管しておく必要があります。

### ◎測定標準作業書、作業日誌について

検査を行う部屋や検査試薬を保管する冷蔵庫等の温度が適切であるかを日々チェックし、記録として保管する必要があります。

また、検体をどのように取り扱い、測定はどのような手順で行って、結果はどう報告するのか、そして異常値を示した場合はどのように対

応するのか等を事細かに文書にまとめ、その記録を保管しておかなければいけません。

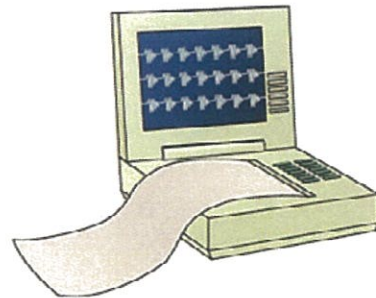
### ◎精度管理台帳について

実際に結果が正しく測定されているか、その精度を日々確認し、記録を保管しておかなければいけません。

また、定期的に行われる外部調査に参加し、検査が正しく実施されているか等の評価を受ける必要があります。

検査科では、患者検体を受け取ってから結果報告するまでに、様々な確認を行って安全を考慮するとともに、正確な検査データを迅速に報告し、少しでも早く患者さんの診断、治療に活かせるよう日々研鑽に努めています。

副臨床検査技師長 西村 武俊



## 四季燦餐 ～とうもろこしの巻～

暦の上では夏が参りましたが、いかがお過ごしでしょうか。皆さんは、夏野菜と言え、どんなものを思い浮かべられますか。トマト・きゅうり・ゴーヤなど…。太陽の光をたっぷり浴びて育った夏野菜は、色鮮やかで食べると何だか元気をもらえそうですね。

今回は、年齢を問わず好まれている「とうもろこし」についてご紹介したいと思います。古くは古代文明の頃から栽培され、日本には16世紀頃、ポルトガル人によって長崎に伝えられたと言われていています。また、呼び方もさまざま地域によっては、「とうきび」と方言で呼ばれているところもあるそうです。

米・麦に並ぶ世界三大穀物とも言われ、からだや脳のエネルギーの補給源となる炭水化物を多く含んでいる為、野菜の中では比較的カロリーは高めですが、体の調子を整えてくれるビタミン群、「高

血圧予防」や「むくみ防止」に働いてくれるカリウムなどの各種ミネラルもバランスよく含んでいます。夏の間には不足しがちな栄養素をたくさん含んでいる為、夏バテ予防には、おススメの食材です。

そのまま茹でる・蒸す・焼くなどのシンプルなメニューも良いのですが、ポタージュスープやかき揚げ、とうもろこし飯、サラダやピザのトッピング、チャーハンの具材といった具合に幅広く活用できる優れたものです。

冷凍をすると、1年中利用できますが、旬の美味しいこの時期に是非プラス食材として取り入れてみませんか。



# 看護学校の頁 ～学び舎から～

## 第十八回 入学式

私たち第18期生40名は、平成31年4月10日に愛媛医療センター附属看護学校に入学しました。新元号「令和時代」の幕開けとともに、私たちも新たな学校生活が始まりました。

入学当初は、期待に胸を膨らませながらも同時に、慣れない学校生活での日々不安も抱えていましたが、私たちを支えてくださる先生方や先輩方に囲まれ、自分たちなりに前向きに学校生活を送れるようになってきました。

講義は、初めて聞く言葉や名称などの専門

### 誓いの言葉



的な内容に慣れず、覚えることも多く大変ではありますが、講師の先生方からの説明はわかりやすく、経験をもとに話される内容は興味深く聞くことができます。

学習の進度に追いつけるのかという不安もありますが、クラスを見渡すと一生懸命講義を受け、復習しているクラスメートがいます。講義や演習でわからなかったところは、お互いにかかるまで教えあったり、助け合ったりできていて安心する存在にもなっています。そのような仲間ができ、共に学ぶことができていることは、私にとってとてもよい刺激となっています。そして、このクラスメートのおかげで毎日充実した生活を送ることができています。クラス全員が、学校生活が楽しく充実できるよう、私自身もみんなにとってよい刺激と思ってもらえるよう、学習面、生活面共に精一杯頑張りたいと思っています。

これからの3年間は、楽しいこともつらいことも数えられないほどあると思います。入学した時に感じた初心を忘れずに「看護師になる」という夢に向かって精進していきます。

第18期生（1年生） 山田 美友

## ちよんと言いつつ放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

四国地方も梅雨入り間近となりました（六月初旬現在）。

当院が位置する東温市は、市の中央部を一級河川重信川が流れ、その流域には泉やため池も多く自然豊かな地勢を有しています。

五月のある土曜日に院内受水槽の定期清掃作業を実施したところ、水の濁りが発生しました。

これまでも清掃後に水が濁ることがあったため、蛇口からしばらく水を流し放しにして様子を見ることにしましたが、一向に改善が見られず、

受水槽内を確認すると底が見えないほどの濁りであることが判明しました。院内で使用する水は全て敷地内に掘られた五つの井戸から汲み上げられ、

受水槽から院内各所へ配水しています。降水量が少なく井戸の水位が低下していたことが関係していると思われる、このままでは給食業務等にも影響

が出るため、とりあえず備蓄のペットボトル水を使用すると同時に、事務職員が手分けして急ぎ近隣のホームセンターへペットボトル水を購入に

走りました。早期解決の見込みも立たないことから、東温市へ給水車の要請も行いました。

土曜の夜間にもかかわらず市の上下水道課からお二人が見えられ、対応策を検討、調整する一方で、当院職員と市の担当者が各井戸、ポンプ室、

受水槽の状況確認や濁り具合チェックのためのサンプル採取を深夜まで繰り返しました。

結果的に給水車の派遣にまでは至りませんが、復旧までに一週間を要し、その間ペットボトル水の購入、受水槽の再清掃、井戸水の水质検査等に追われました。

今回の件では、土曜に深夜まで対応して下さった東温市上下水道課、日曜にもかかわらず臨時に水质検査を受けて下さった愛媛県立衛生環境研究所、その後継続して水质検査の対応をしてくださった愛媛県総合保健協会の方々大変お世話になりました。

ありがとうございます。

日向坂



# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834  
外科外来直通電話 089-990-1835

| 診療科        | 診察室 | 午前・午後 | 月  | 火     | 水   | 木                | 金         |
|------------|-----|-------|----|-------|-----|------------------|-----------|
| 循環器内科      | 6診  | 午前    | 船田 | 船田    | 泉   | 岩田               | 関谷        |
|            |     | 午後    |    | 岩田    |     |                  |           |
|            | 11診 | 午前    |    |       |     |                  |           |
|            |     | 午後    |    |       | 船田  |                  |           |
|            | 12診 | 午前    |    |       |     |                  |           |
|            |     | 午後    |    |       | 泉   |                  |           |
| 消化器内科      | 9診  | 午前    | 武智 | 山内(一) | 久保  | 山内(一)<br>(糖尿病専門) | 久保        |
|            |     | 午後    |    |       |     |                  |           |
|            | 12診 | 午前    |    |       | 廣岡  | 大藏               |           |
|            |     | 午後    |    |       |     |                  |           |
| 呼吸器内科      | 10診 | 午前    | 阿部 | 伊東    | 佐藤  | 阿部               | 伊東        |
|            |     | 午後    |    |       |     |                  |           |
|            | 11診 | 午前    |    | 渡邊    |     | 仙波               | 山本        |
|            |     | 午後    |    |       |     |                  |           |
| 神経内科       | 12診 | 午前    | 小原 | 尾原    |     |                  | 戸井        |
|            |     | 午後    |    |       |     | 小原               |           |
| 整形外科       | 15診 | 午前    | 宮本 |       |     | 宮本               | 担当医(初診のみ) |
|            |     | 午後    |    |       |     |                  |           |
|            | 16診 | 午前    | 相澤 |       | 相澤  |                  |           |
|            |     | 午後    |    |       |     |                  |           |
| リハビリテーション科 | 15診 | 午前    |    | 曾我部   | 曾我部 |                  |           |
|            |     | 午後    |    |       |     |                  |           |
| 外科         | 14診 | 午前    |    |       |     |                  |           |
|            |     | 午後    |    | 石丸    |     |                  |           |
| 消化器外科      | 14診 | 午前    |    | 鈴木    | 森本  | 渡部(第3週)          |           |
|            |     | 午後    |    |       |     |                  |           |
| 呼吸器外科      | 14診 | 午前    |    |       |     |                  | 湯汲        |
|            |     | 午後    |    |       |     | 佐野(第4週14時30分~)   |           |
| 小児科(神経外来)  | 14診 | 午前    |    |       |     |                  |           |
|            |     | 午後    | 菊池 |       | 濱田  |                  | 菊池        |

| 専門外来(予約制) |     | 月           | 火        | 水         | 木          | 金           |
|-----------|-----|-------------|----------|-----------|------------|-------------|
| 心臓外科外来    | 14診 |             |          |           | 泉谷(隔週)     |             |
| ペースメーカー外来 | 6診  |             |          |           | 第2・4(午後)   |             |
| 糖尿病外来     | 11診 |             |          |           |            | 神崎(月1回)     |
| フットケア外来   | 8診  |             |          |           | 毎週         |             |
| スキンケア外来   | 救外  |             | 第1・3(午前) |           |            |             |
| ペインクリニック  | 11診 |             |          | 山内(康)(午前) |            |             |
| じん肺外来     | 14診 |             |          |           |            | 西村(第1・3午前)  |
| アスベスト外来   | 11診 |             | 午後       |           | 午後         |             |
| 息切れ外来     | 11診 | 渡邊(13時30分~) |          |           |            |             |
| SAS外来     | 11診 |             |          |           |            | 渡邊(14時~16時) |
| 頭痛外来      | 13診 |             |          |           | 永井(第2・4午前) |             |
| 神経難病      | 13診 |             |          | 橋本        |            |             |

※外来受付は8時30分から12時までです。内科は13時から16時までです。  
ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。  
※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2019年7月1日現在

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。